

平成27年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成28年3月

米子市（鳥取県）

○計画期間：平成27年12月～平成33年3月（5年4月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、前基本計画（平成20年11月～平成26年3月）においての中心市街地の現状分析及び取組効果の検証を踏まえ、平成27年12月に新たな基本計画の認定を受けた。「人にぎわうまちづくり」、「ふるさとを活かしたまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」の3つの方針のもとで事業を実施することにより、「人が集まり、歩いて楽しみ、元気に暮らせる中心市街地」をめざしている。

本市の中心市街地は、地域における行政、経済、文化、教育、医療、福祉、娯楽など、多様な都市機能が高度に集積されるとともに、鳥取県西部圏域の道路、鉄道等の交通網が中心市街地を起点に整備され、圏域の様々な便益を提供する「まちの心臓」としての役割も担ってきた。しかしながら、近年においては、少子高齢化による定住人口の減少のほか、車社会の進展、郊外への大型店の進出等により、中心市街地に集積していたオフィス機能や商業機能も低下してきている。前計画の取り組みにより、中心市街地においては商業環境の整備、文化施設の拡充等による一定の成果が見られるが、引き続き都市機能の増進及び社会・経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進する必要がある。

最近の状況としては、民間ワンルームマンションが平成27年12月に1棟と平成28年3月に2棟が竣工したほか、築140年以上の空き家兼空き店舗がコミュニティスペース・ゲストハウス等として改修され、平成28年2月1日にオープンし、地域交流の拠点として再生された。このような取り組みの効果は直ぐに現れるものではないが、中心市街地に賑わいや活気が創出されることを期待している。

その他では、平成28年度実施に向け申請していた「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」が不採択となったが、事業者と関係機関が一体となり、内容をブラッシュアップし、事業実施に向け取り組むこととしている。

2. 平成27年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

米子市と協議会で月1回の定例会議を開催するとともに、民間事業の掘り起こしや事業計画の醸成を図るため、協議会内にプロジェクトチームを設け官民が密接な連携をして取り組むことができた。前計画からの取組の効果も含まれると思うが、空き店舗率の減少や民間共同住宅マンション建設による人口流入の兆しが出てきた。

なお、角盤町周辺エリアでリーディング事業の補助不採択に伴う計画の見直しや、同エリアにある地元寄合百貨店の閉店等もあり、同エリアに関しては順調に進捗したとはいえない。

全体としてみれば、角盤町周辺エリアの課題も官民連携して対応したいと考えているところであり、多少の遅れはあるが基本計画は順調に進捗したと評価する。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
人が集いにぎわう まち	歩行者等通行量 (自転車含む)	12,945 人 (H26)	13,200 人 (H32)	平成 28 年度フォローアップ		
	駐車場の利用台数 (時間貸しのみ)	1,498,308 台 (H26)	1,515,000 台 (H32)	1,521,168 台 (H27)	—	①
歴史や文化、 自然に触れ合える まち	文化施設の利用者数	1,138,317 人 (H25)	1,140,000 人 (H32)	平成 28 年度フォローアップ		
	下町観光ガイドの 利用者数	956 人 (H26)	1,380 人 (H32)	1,610 人 (H27)	—	①
住みたくなる まち	人口の社会増減	H22～27 年 の平均 -5 人 (3 月末時点)	H28～33 年 の平均をプ ラスに (3 月末時点)	2 人 (H28)	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

【駐車場の利用台数について】

J R 米子駅は交通の拠点としての機能を有していることから、米子駅周辺エリアは、近年飲食店の出店やホテルの建設など賑わいを見せている。それに伴って米子駅周辺の駐車場利用台数も増加傾向にあり、平成 27 年度において目標としていた数値を超えた。今後もこの状態は続くと思料され、さらに、キッズサポート施設整備事業が実施できるようになれば、角盤町周辺エリアの賑わい創出に繋がり、利用台数の更なる増加も期待され、目標は達成するものと見込まれる。

【下町観光ガイドの利用者数について】

利用件数については横ばいであるが、米子城跡が旅行会社の「城めぐりツアー」に組み込まれていることにより団体利用が増え、利用者数は平成 27 年において目標としていた数値を超えた。旅行会社の企画が継続する間はこの状態が続くと思われるが、まちなかの魅力を継続して発信し続け、団体客のみならず、市民や個人旅行者の利用増加にも繋げたい。また、

平成28年度からは新規ルートを設定し、まちなか小路マップも完成する予定としており、目標は達成するものと見込まれる。

【人口の社会増減について】

中心市街地に民間共同住宅が3棟竣工された影響により（40戸／40戸／30戸）、平成28年3月末の数値において目標値を超えた。今後も民間共同住宅の建設が見込まれ、目標達成は可能な状況にある。

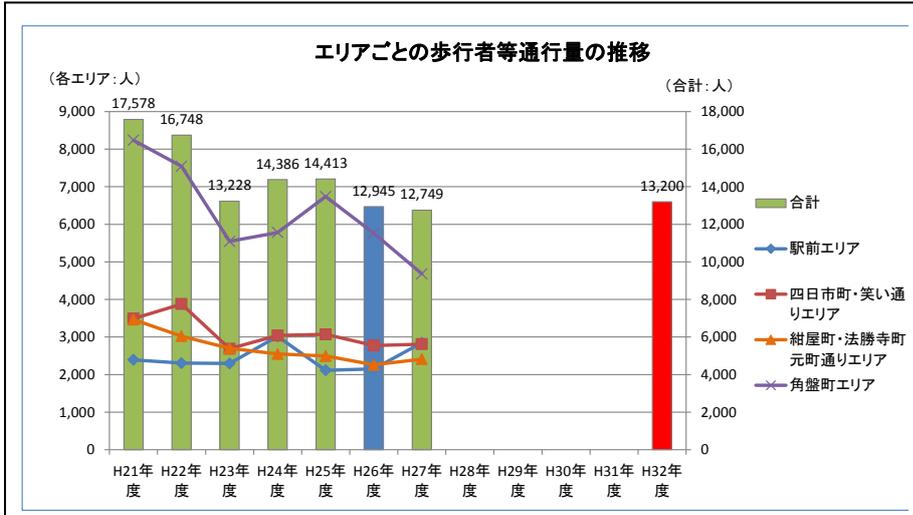
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

平成27年度認定の計画であり、前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者等通行量（自転車を含む）」※目標設定の考え方基本計画 P58～P65 参照

●調査結果の推移



年	(人/年度)
H26	12,945 (基準年値)
H27	12,749
H28	
H29	
H30	
H31	
H32	13,200 (目標値)

※調査方法： 平日、休日の6日間実施。調査地点12地点において、調査時間を10時～17時までとし、毎時30分間計測。平日平均値、休日平均値を合計した。

※調査月： 平成27年10月・11月

※調査主体： 米子市

※調査対象： 自転車を含む中学生以上の歩行者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～		
事業概要	空き店舗に出店する事業者に店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
事業効果及び進捗状況	・新規出店見込み数と実績数		
	エリア名	見込み (H27～H32年度)	
	実績 (H27年度)		
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	1店舗
	四日市町周辺	8店舗	1店舗
	角盤町周辺	3店舗	1店舗
	其他地区	4店舗	0店舗
合計	20店舗	3店舗	
平成27年度はほぼ見込みどおり出店があり、空き店舗の解消に繋がっている。事業が完了することにより、200人の歩行者等通行量の増加を見込んでおり、まちなかの賑わい創出につながる。			

②. 新生米子市立図書館の運営（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
--------	--------------

事業概要	図書の貸出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営
事業効果及び進捗状況	図書館の利用案内（パンフレット）、ホームページ、図書館だより（毎月1回発行）等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、利用促進に努め多様なニーズに対応している。これらの取り組みにより、平成25年8月のリニューアルオープン後、図書館来館者数が増加傾向にある。

③. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、利活用について検討中。米子城跡のガイダンスや下町散策の拠点施設として機能するよう整備が完了すれば、入館者数の増加が見込まれ、まちなかの賑わい創出につながる。

④. 米子駅南北自由通路等整備事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成32年度
事業概要	鉄道で分断されている米子駅の南北地区をバリアフリー化に配慮した自由通路で連絡し、歩行者等の安全性・利便性の向上や駅周辺の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年度 事前調査 平成27年度 予備設計及び予備補償調査 平成28年度 補償本調査及び都市計画決定（予定） 平成29年度 詳細設計（予定） 平成30年度 工事着手（予定） 事業が完了することにより、360人の通行量増加を見込んでおり、まちなかの賑わい創出につながる。

⑤. 民間共同住宅建設事業

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設
事業効果及び進捗状況	平成27年12月 1棟（40戸） 竣工 平成28年 3月 2棟（40戸／30戸） 竣工 計画では2棟建設で40人の通行量増加を見込んでおり、次回調査時に効果が現れることを期待している。

⑥. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株) 米子高島屋）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人々のニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。
事業効果及び進捗状況	平成28年度実施に向け申請していた当該事業が不採択となったが、事業者と関係機関が一体となり、内容をブラッシュアップし、事業実施に向け取り組むこととしている。

⑦. 商都米子再興戦略・商業施設整備事業（(株)リサ・クリエイティブプロダクツ）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	子ども連れでも気軽に飲食等ができ、米子高島屋が整備を予定しているキッズサポート施設との相乗効果が期待できる商業施設の整備
事業効果及び進捗状況	商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業との相乗効果を狙ったものであり、当該事業が不採択となった関係で、今後の事業のあり方を検討中。

⑧. よなごまちなかコミュニティ活性化支援事業（米子市）

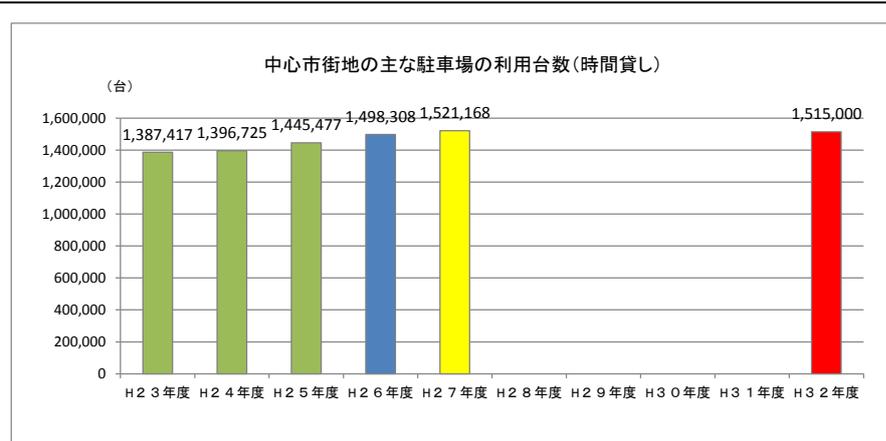
事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	地域活性化に資する生活支援サービスやコミュニティ拠点施設・ゲストハウスの運営、コミュニティビジネスの起業等の取組に要する経費を支援する
事業効果及び進捗状況	平成28年2月に、築140年以上の空き家兼空き店舗がコミュニティスペース・ゲストハウス等として改修され、地域交流の拠点としてオープンした。2・3月の平均稼働床数は65床（一日の利用可能床数9床）。JR米子駅に近い利点もあり、県外者や外国からの旅行者の利用も多い。中心市街地に賑わいや活気が創出され、次回調査時に効果が現れることを期待している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

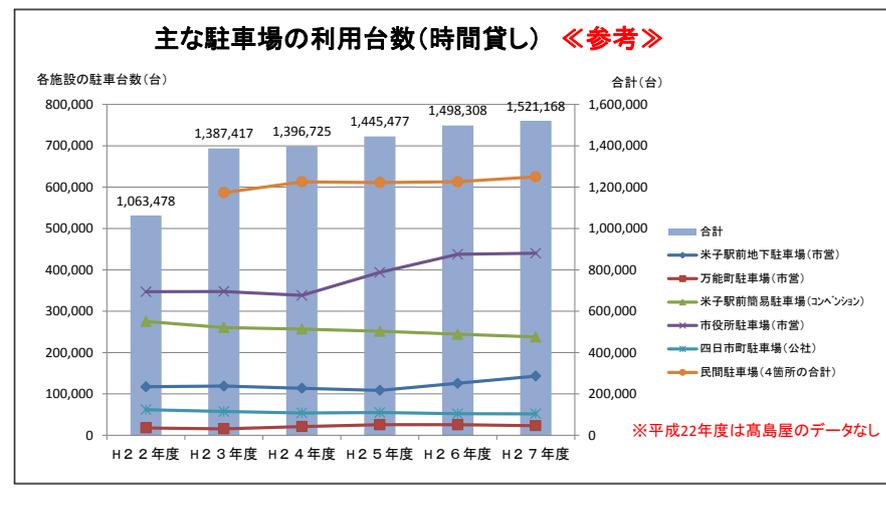
今回フォローアップの実施なし。なお、平成27年度の数値は、認定前に実施した調査による。

「駐車場の利用台数（時間貸しのみ）」※目標設定の考え方基本計画 P65～P69 参照

●調査結果の推移



年	(台/年度)
H26	1,498,308 (基準年値)
H27	1,521,168
H28	
H29	
H30	
H31	
H32	1,515,000 (目標値)



※調査方法：公営・民間合わせて9箇所を設定し、各施設の所有者からの報告により把握。

※調査月：平成28年4月（前年度4月～3月の合計）

※調査主体：米子市

※調査対象：米子駅前地下駐車場（市営）、万能町駐車場（市営）、米子駅前簡易駐車場（コンベンション）、市役所駐車場（市営）、四日市町駐車場（公社）、民間駐車場（4箇所）の計9箇所の時間貸しのみ

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、利活用について検討中。整備が完了することにより、724台/年の利用台数の増加を見込んでおり、来街者をまちなかに呼び込む効果が期待される。

②. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株) 米子高島屋）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人々のニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。
事業効果及び進捗状況	平成28年度実施に向け申請していた当該事業が不採択となったが、事業者と関係機関が一体となり、内容をブラッシュアップし、事業実施に向け取り組むこととしている。

③. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～		
事業概要	空き店舗に出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
事業効果及び進捗状況	・新規出店見込み数と実績数		
	エリア名	見込み (H27～H32年度)	実績 (H27年度)
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	1店舗
	四日市町周辺	8店舗	1店舗
	角盤町周辺	3店舗	1店舗
	その他地区	4店舗	0店舗
	合計	20店舗	3店舗
平成27年度はほぼ見込みどおり出店があり、空き店舗の解消に繋がっている。当事業が完了することにより、8,760台/年の利用台数増加を見込んでおり、来街者をまちなかに呼び込む効果が期待される。			

④. 公会堂利用促進事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	ホールはもとより、ホワイエは市民ギャラリーやミニコンサート等、広場は憩いの場やフリーマーケット等、多目的なイベント利用への働きかけをし、来街者を増やす。
事業効果及び進捗状況	平成26年3月のリニューアルオープン後、ホール利用に留まらず、ライブや夏まつり、イルミネーション点灯式などの様々なイベントが行われ、来街者増に繋がっている。前庭は全面に芝生が張られて開放的な空間となり、ダンスチームの練習やウォーキングイベントの集合場所としても活用されている。また、申請のある利用のみならず、数字としては見えない、市民の憩いの場としての効果も現れている。

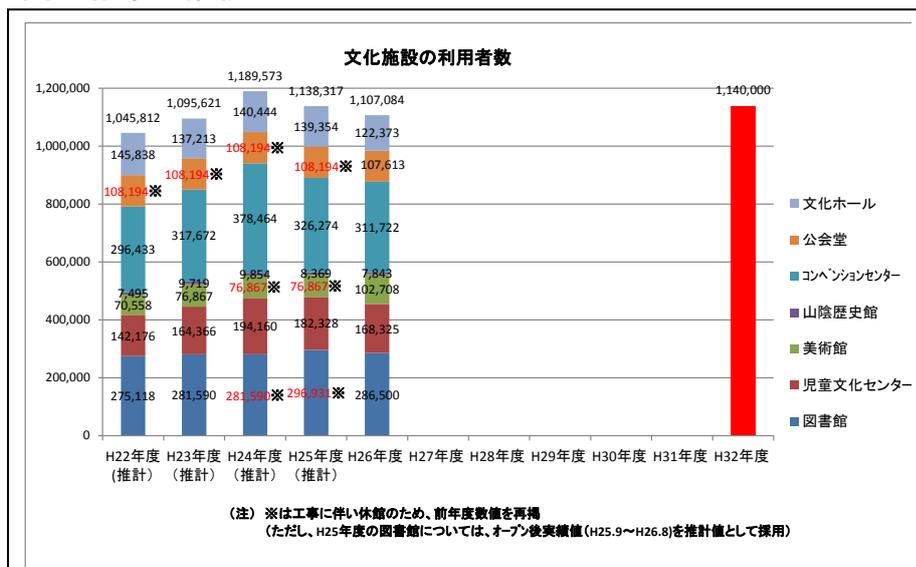
●目標達成の見通し及び今後の対策

J R米子駅は交通の拠点としての機能を有していることから、旅行者が周辺のホテルを利用する機会が多く、近年は飲食店の出店も相次ぎ、賑わいを見せている。これらの要因により、米子駅周辺エリアの駐車場利用台数が伸びてきており、今後もこの傾向は続くと考えられる。

また、平成28年度実施に向け申請していたキッズサポート施設整備事業が不採択となったが、事業者と関係機関が一体となり、内容をブラッシュアップし、事業実施に向け取り組むこととしており、当該事業が実施となれば、角盤町周辺エリアの賑わい創出に繋がり、利用台数の更なる増加も期待され、目標は達成するものと思われる。

「文化施設の利用者数について」 ※目標設定の考え方基本計画 P70～P73 参照

●調査結果の推移



年	(人/年度)
H25	1,138,317 (基準年値)
H26	1,107,084
H27	
H28	
H29	
H30	
H31	
H32	1,140,000 (目標値)

※調査方法： 事務報告等

※調査月： 平成27年9月（前年度4月～3月の合計）

※調査主体： 米子市

※調査対象： 文化ホール、公会堂、コンベンションセンター、山陰歴史館、美術館、児童文化センター、図書館の計7箇所の文化施設

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、利活用について検討中。整備の完了により、1,987人/年の利用者の増加を見込んでいる。

② 新生米子市立図書館の運営（米子市）

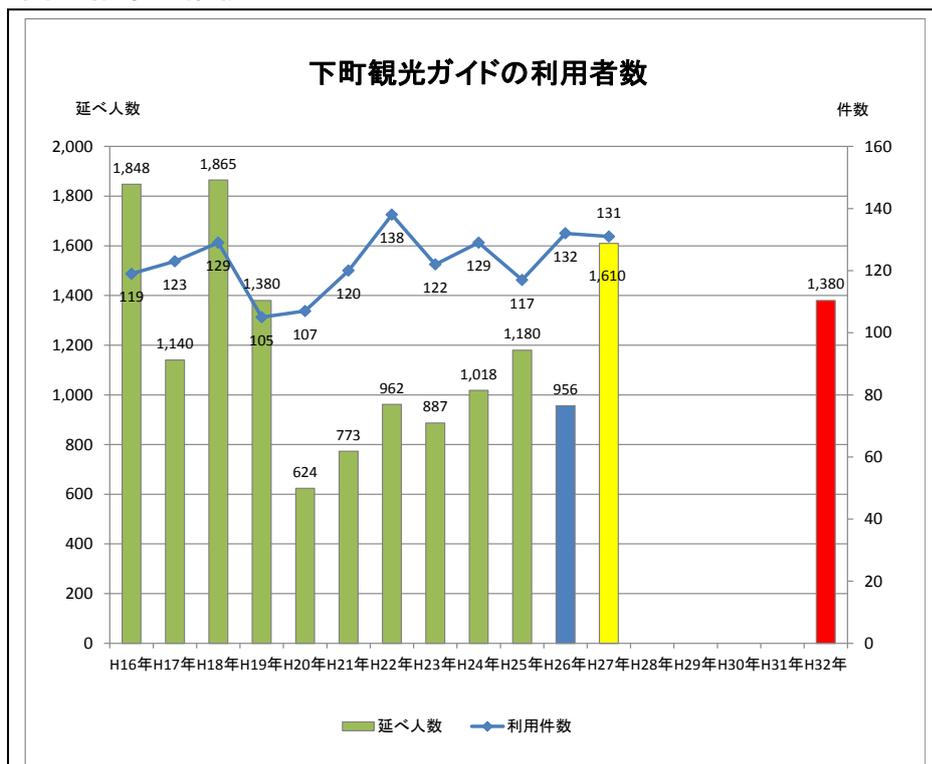
事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	図書館の貸出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営
事業効果及び進捗状況	図書館の利用案内（パンフレット）、ホームページ、図書館だより（毎月1回発行）等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、利用促進に努め多様なニーズに対応している。これらの取り組みにより、平成25年8月のリニューアルオープン後、図書館来館者数が増加傾向にある。

●目標達成の見通し及び今後の対策

今回フォローアップの実施なし。なお、平成26年度の数値は認定前の調査による。

「下町観光ガイドの利用者数について」 ※目標設定の考え方基本計画 P73～P75 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H26	956 (基準年値)
H27	1,610
H28	
H29	
H30	
H31	
H32	1,380 (目標値)

※調査方法：米子市観光協会がとりまとめている利用者数を集計し、把握。

※調査月：平成28年1月（前年1月～12月の合計）

※調査主体：米子市

※調査対象：下町観光ガイド利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備に伴う増加

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	米子城跡のガイダンスや下町散策の拠点施設としても機能するように整備し、市民や観光客が気軽に訪れることができる環境を整える。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、利活用について検討中。整備の完了により、111人の下町観光ガイド利用者数増加を見込んでいる。

②. 新規ルート設定による増加

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	現在のモデルコースだけでなく、新規ルートの開発にも取り組むことにより、リピート客への対応や多様なニーズを受け入れる。
事業効果及び進捗状況	平成28年4月から米子の小路散策コース（鉄砲小路～荒神小路）が追加され、モデルコースが5つとなった。計画では、5年間で3コース程度の創設により、22人の利用者数増加を見込んでいる。

③. まちなか「小路」案内板設置事業（よなごの88選実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	中心市街地に残る約400年前の「町割り」を形成する「小路」の位置や名称を特定し、案内板を設置する。
事業効果及び進捗状況	市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、小路の歴史や魅力を感じながら散策することにより、交流人口の増加に繋がった。

④. 米子のまち 小路めぐりマップ作成（よなごの88選実行委員会）

事業完了時期	【未】平成27年度～
事業概要	まちなかの「小路」の歴史的な背景を学ぶと共に、現代の町の魅力や歴史的な背景を味わえるよう、楽しいまち歩き提案とマップを作成する。
事業効果及び進捗状況	市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、小路の歴史や魅力を感じながら散策することにより、交流人口の増加に繋げる。平成28年秋頃にマップ完成予定。

●目標達成の見通し及び今後の対策

利用件数については横ばいであるが、米子城跡が旅行会社の「城めぐりツアー」に組み込まれており、団体利用が増えている。

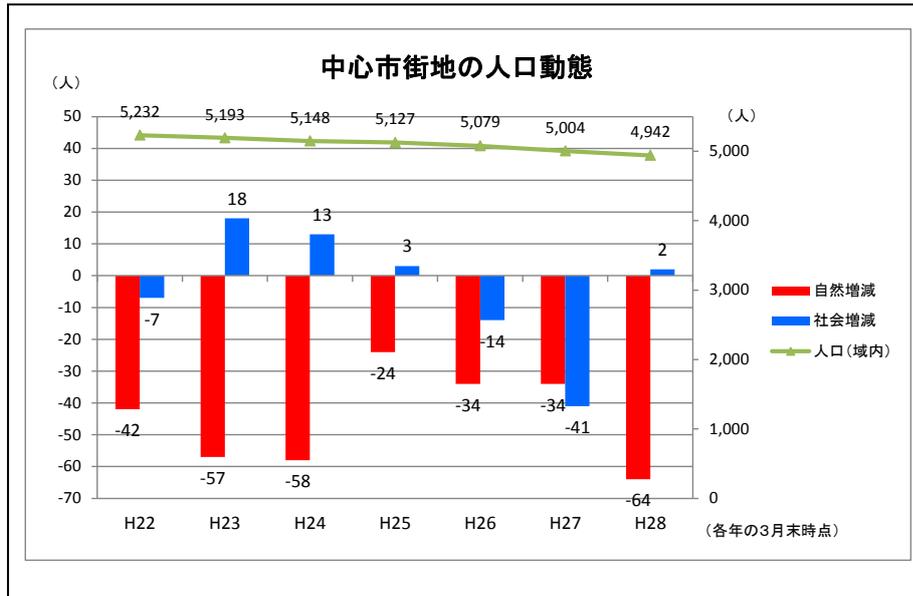
また、団体客を取り込むためのPRを続けることもさることながら、案内板の設置や定期的なイベントを実施することにより、まちなかの魅力を知ってもらい、市民や個人旅行者の確保にも繋げたい。平成28年4月からは「米子の小路散策コース」が新規ルートとして追加され、リピート客への対応や多様なニーズを受け入れる体制を整えるとともに、コースの魅力向上に取り組む。秋には「小路めぐりマップ」が完成予定となっている。

さらに、「まちなかを巡るモニターツアー」や「ブロガーを活用した情報発信」を引き続き行い、新たな利用者層の獲得に繋がることを期待している。

今後もツアーの団体利用は続くと考えられ、かつ事業を実施することで目標は達成すると見込まれる。

「人口の社会増減について」 ※目標設定の考え方基本計画 P76～P79 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H27	H22～27年の平均 -5人 (基準年値)
H28	2人
H29	
H30	
H31	
H32	
H33	H28～33年の平均をプラスに (目標値)

※調査方法：住民基本台帳から集計

※調査月：平成28年4月（前年度4月～3月）

※調査主体：米子市

※調査対象：中心市街地区域内

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 民間共同住宅建設事業

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設
事業効果及び進捗状況	平成27年12月 1棟（40戸） 竣工 平成28年 3月 2棟（40戸／30戸） 竣工 民間共同住宅が3棟竣工し、人口の社会増減に効果が現れた。

② まちなか空家活用プロジェクト（米子まちなか空家活用プロジェクト運営会議）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	空き家を改修し、地域交流スペース機能を備えた若者向けシェアハウスの整備及び「岩倉ふらっと」の管理・運営
事業効果及び進捗状況	新規物件については掘り起し中。 「岩倉ふらっと」では地域に開かれたイベントを継続的に開催しており、平成27年度は4回開催した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地の人口の社会動態については、平成26年以降は社会減となっていたが、平成28年3月末ではプラスに転じた。これは、民間共同住宅が3棟竣工（40戸／40戸／30戸）したことが要因と考えられる。

今後も中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間共同住宅の建設を促すことにより、目標達成は可能な状況にある。